

平成17年度(2)

コムギ遺伝資源小委員会及びNBRPコムギ運営委員会議事概要

日時：2006年3月27日

出席者：常脇恒一郎、古田喜彦、中村俊樹、河原太八、笹沼恒夫(代理)、荻原保成、辻本壽、寺地徹、村井耕二、遠藤隆、(以上、運営委員)；森直樹、那須田周平、宅見薫雄、松岡由浩(以上、オブザーバー)

議題：

1.事業報告（NBRPとしてこの3年間）

- ・河原、遠藤、笹沼、辻本、荻原 各氏より資料（別添）に基づき説明、質疑応答。
- ・NBRP 資金を受けた機関は、NBRP 終了（2007.3.31）後、少なくとも5 年間はリソース の配布を継続することを確認。
- ・NBRP 資金を受けた機関は、NBRP 終了（2007.3.31）後、少なくとも10 年から20 年間 配布可能なリソースを保存することを確認。

2.NBRP コムギの次期目標と体制について

全体を

- 1) 今期NBRP で収集・保存したリソースの保存と配布を継続
- 2) コムギのゲノム解析・遺伝子単離に向けたリソースの整備の2本立てにする。

1) 保存・配布

1. 今期NBRP で収集・保存した系統（データベースに登録したもの）の配布及び不足リソースの増殖だけに事業を限定する。
2. 新たに、既存リソースの収集はしない。（2007 年以降に開発されたリソース及び寄託される系統で、必要と思われるものは、運営委員会に諮って、収集・保存する。）
3. 実際の保存・配布は今期NBRPの体制を維持するが、責任機関を一つに限定する。）

2) ゲノム解析・遺伝子単離に向けたリソースの整備

1. 事業として、DNA マーカー（SSR, EST）の収集、完全長cDNA クローンの解読、Tilling とEcoTilling、腕特異的BAC ライブラリー、アレイ解析などが提案

された。

2. NBRP 事業としては、今期NBRP の成果に基づいたDNA マーカーの収集と完全長cDNA クローンの収集に限定する。）
3. (DNA マーカー収集には、付加価値を付けるための品種・系統間多型の調査と座乗 染色体部位の決定するためのリソースの収集と解析を含める)
4. (責任機関を一つに限定して、そこを中心に具体的な業務内容の立案をしコミギ小 委員会メンバーに業務を委託する。)
5. データーを取りまとめるキュレーターの的な人を配置する。

次回は8 月12 日（土）を予定。

[別添資料はこちら\(pdf形式\)](#)
